

「令和4年度 学生 FD CHAmiT 学部提案書に基づく改善報告書」の掲載について

日本大学では、FD活動に学生の声を反映させながら教育力の向上を目指すべく、平成25年度より、16学部87学科、短期大学部4学科、通信教育部を対象に学生・教員・職員が一堂に会して学生FDや本学の教育について理解を深め、気軽な雰囲気の中で語り合う「日本大学 学生FD CHAmiT(ちゃみっと)」を開催しております。

全学規模のイベントとなっており、例年、各学部等から200名以上の参加者を得て開催しております。令和2年度及び令和3年度においては、コロナ禍の影響により、オンライン(Zoom)開催いたしました。

第10回目となる令和4年度においては、対面又はオンラインのいずれかの参加方法を選択できるハイブリッド方式で実施いたしました。コロナ禍を経験した今だからこそ、改めて大学で学ぶ意義等について話し合い、自身が思い描いた大学生活の理想と現実のギャップについて、意見を出し合い、最終的に理想的な大学生活を送るために大学に求めたいことを学部単位でまとめ、「学部提案書」を作成いたしました。これを踏まえて、効果的な教育改善の実現に繋がるよう、商学部において学生との協議の場を設け、学生・教員・職員の三者で協議した上で「学生への回答書」を作成いたしましたので、御覧いただきますようお願いいたします。

今後も商学部では、教育の質や改善について検討を重ね、より良い教育環境づくりに努めていきます。

以 上

令和4年度 学生FD CHAmiT 学部提案書に基づく学生への回答書

【商学部】

1 学生との協議の場について

実施日	実施内容
令和5年1月30日	CHAmiT参加者学生スタッフ、FD委員、教務課及び学生課職員等の計12名にて対面にて、学部提案書、対面授業及びオンライン授業を経験した上での授業に対する考え方、学び方等について、及びCHAmiTで作成された学部提案書について1時間30分、実現に向けて意見交換を行いました。

2 学部提案書の対応について

学部を「理想の学部」にするための提案について

項目	対応済	対応中	未対応	対応内容
勉強する喜び・目的を見失ってしまったり、入学後に孤立してしまい授業を受けなくなってしまうケースが見受けられるので、大学での学びが将来に繋がることを知ってもらうために、実際に社会人の方からお話を聞く機会を設けていただきたいです。また、入学後に孤立してしまう学生を減らすためにも、ブラザーシスター制度で希望した学生に先輩がつく制度があると、履修などでの不明な点を相談しやすくなり授業への出席も増えると思います。		○		商学部には「寄付講座」という名称で実際の社会人の方が講師の授業や、授業内で一部を招へいた講師の講演を行うこと実施しています。令和5年度は原則対面で開催するため、講師への質疑応答が可能になる等、さらに学びの機会が広がると思います。また、ブラザーシスター制度とまではいきませんが、入学後の最初の約1週間に開催される新入生オリエンテーションウィークにおいて、「先輩と語ろう」のコーナーがあり、在学生在が大学生活のことや新入生の質問に答えます。
全学部や商学部において、学生同士で交流する機会を提供しても参加者が集まりにくいので、参加する楽しさを知っていただくためにも、みんなが参加しやすい平日などに行うと良いと思いました。一度は参加していただくことで、目的が同じ学生に出会うことができ、楽しいと気付いてもらえると思います。			○	全学部の学生が交流する機会となると、どうしても休日に設定せざるを得ない側面があります。平日に設定すると、他の授業との関係から難しいこともあり、現時点では実現には至っていません。
本来受けたかった授業ではない場合、積極性がなくなる学生がいるため、可能な限り、人気科目の時間数を増やすなどして、みんなが受けたい授業を受けられるようにしたら、学生の意欲向上に繋がると思います。			○	可能な限り、受けたい授業を受けられるようにするため、履修登録で抽選科目となっている場合であっても、当選・落選状況による履修修正が考えられることから、定員に空きのある科目を対象に、追加での履修登録ができるようにしています。教室の収容人数や、受講生へのフィードバック、成績・出席管理の面で、授業担当教員が対応できる受講者数には限りがあります。すべての問題に対応するのは現状では難しいですが、引き続き、より多くの学生が受けたい授業を受けられるようにするには何ができるか検討していきたいと思っています。
大人数の授業の場合、教員との距離が遠くなってしまいうため、アポイントを取る点などにおいて、オフィスアワーをより活用し易いように改善していただきたいです。	○			オフィスアワーについては、シラバスに記載しています。令和5年度は基本的に面接（対面）授業を実施いたしますので、昨年度よりもオフィスアワーを活用し易くなると考えています。
カラーコピーの場合、一日のコピー数制限によって、印刷が途中でしかできないことがあるので、一日のコピー数制限をなくしていただきたいです。			○	ある学生が大量に印刷することによるプリンター占有を避けること、大学全体のペーパーレス化、及び年間のコピー数制限の早期到達を避けるために、コピー数制限を設けています。このため、現状では、コピー数の制限に注意しながら、印刷してもらうしかありません。しかし、学修する上でコピーが必要なことも認識していますので、今後、検討したいと思います。
レポートを提出してもフィードバックがないことがあり、次にレポートを書く際の改善に繋がられないため、採点基準などのガイドラインを提示していただければ、レポートの改善に繋がります。		○		フィードバックについては、学部内のFD研修においてもテーマとして取り扱い、教員間のフィードバックについての良い事例や工夫の情報共有を行っております。レポート提出へのフィードバックや成績評価基準は、シラバスに記載されていますが、採点基準などは、担当教員の裁量ですので、共通的なガイドラインを作成を視野に入れ、今後も引き続き、学部内におけるフィードバックに関する意識の向上を図って参ります。
オンライン授業において、他の学生の質問などを新しい学びに繋がりたいので、学生から出た質問をPDF形式で全体に共有していただきたいです。		○		授業によっては、Classroom・NUeにおいて、質問への回答をまとめて掲載している場合がありますが、すべての教員が掲載しているわけではありません。学部内のFD研修においては、授業参観を実施し、授業内で学生から出た質問を取り扱い回答をしている授業含め教職員で参観いたしました。引き続き、学生の新しい学びに繋がるように研修で取り上げる等、改善を施したいと思っています。

※令和5年4月1日現在の対応内容となっており、今後の状況によって変更する可能性があります。

3 商学部から学生へのメッセージ

商学部では、令和5年度は基本的に面接（対面）授業を実施いたします。今年度のCHAmiTの前後においても学生の皆様の意見と教職員の意見の共有を進めていきます。令和5年度商学部FD活動においても、さらに商学部の授業を良くしていくために活動しますので、御意見・御要望がありましたら、教務課までお寄せください。
